

会議議事録

議事録

1. 議題: 日本のエネルギー・ミックス

2. 参加者: 永井

3. 議論の要約:

永井は日本のエネルギー・ミックスについて議論を開始し、「気候市民会議」についてGeminiに質問した。Geminiは、気候市民会議とは抽選で選ばれた市民が専門家の説明や議論を元に気候変動対策の提言を行う仕組みであると説明した。

続いて永井は、自身が作成したオンライン気候市民会議プラットフォームに関する研究進捗報告(ファイル: e49679cd-2474-4dd8-93f5-81093f45edeb.pdf)をGeminiに送付し、その内容について質問した。

当初、オンライン議論全般を対象とした複雑なシステム構築を目指していたが、実現可能性の低さから、気候市民会議のオンライン化に焦点を絞り、簡素化されたシステムの実証実験に方針転換した。主な変更点は下記の通り。

* **目的**: オンライン議論全般の情報・科学リテラシー向上から、オンライン気候市民会議の情報・科学リテラシー向上へ

* **手法**: 複雑なシステム構築から、気候市民会議のプロセスを組み込んだシステムの実証実験へ

* **システム機能**: 発言分類項目の変更（意見、質問、ファシリテーション、情報提供、Geminiへの質問）、Geminiを用いたAI情報提供機能追加、進行状況確認ボタン実装

Geminiによる情報提供機能は専門家並みの回答が可能だが、質問の前提を覆す本質的な回答は難しいという課題が判明したため、より詳細な指示による改善を検討している。システム機能は概ね完成しており、今後の課題は検証方法の検討である。

4. 決定事項:

* オンライン気候市民会議プラットフォームの開発に焦点を当てる。（合意度：部分同意1、他意見なしのため部分的合意）

* システムの機能として、発言分類、Geminiによる情報提供、進行状況確認を実装する。（合意度：部分同意1、他意見なしのため部分的合意）

5. 未解決の課題:

* 開発したシステムの検証方法

6. ネクストアクション:

* 永井：システム検証方法の検討

* 永井：Geminiへの質問指示の改善策検討と実装（質問の前提を覆すような回答を導き出すための指示出し方法の検討）